

「今、学校では」 29号

修学旅行雑感

校長 齋木 孝道

現在、本校では修学旅行は秋田県の田沢湖近辺の民宿に泊まり農業体験を行っている。2日目が田沢湖芸術村にあるワラビ座で観劇やソーラン節を踊り、3日目が平泉の中尊寺を見学して横浜に戻っている。秋田への修学旅行は今年で7年目を迎え、私も生徒を引率して4回目を数えた。子どもたちの旅行中の様子や活動を通して感じたことを今回は少し述べてみたい。

田植えをしていた女生徒が顔に泥を塗り、泥パックと称して喜び、川の水は冷たいにもかかわらず小川で何時間も水遊びをしている男子生徒もいた。田の畦道を軽トラックの荷台にのってキャーキャーと歓声を上げている生徒、田んぼの水路で必死になってドジョウや蛙をとっている生徒もいた。夜、懐中電灯をもって蛙とりにでかける人もいた。酪農体験では牛の背に乗り喜色満面になったり民宿の犬との戯れや散歩に夢中になっている生徒もいた。野菜の苗を植えるのに手袋をしてこわごわと土をさわっている男子、蛇をみて騒いでいる生徒等もいた。とにかく、目を輝かせて遊んでいる。2～3歳の幼児が砂場で必死に泥団子を作っている姿がよみがえってきた。子どもたちは大自然の中で過ごすことを堪能しているようだった。その反面、平泉の中尊寺の金色堂でじっくり立ち止まって見学する生徒の数はきわめて少ない。歩いたまま通りすぎて行く生徒が大多数である。金色堂は奥州藤原氏が築いた素晴らしい国宝である。

今、連日、マスコミで青少年の問題行動が報道されている。子どもの成長にとって重要な「労働体験」と「人との触れ合い」の絶対量が極端に少なくなっている。現代社会があまりにも都市化・人工化・便利化し過ぎてしまい体験の機会が減少している。少子化・核家族化のなかで、人との触れ合いの絶対量も少なくなっている。このことが、子どもたちに著しい発達阻害をもたらしている。人間が動物として生きる「生命力」が低下している現象がみられる。以前の大人が幼児期や小学校低学年で体験したことを、中学生が修学旅行という限られた期間と場所の中で行っている。大人の眼からみれば、中学生の幼稚化と写るだろう。現在、盛んに教育改革論議がなされている。是非、この点に視点をあてた議論もして欲しいと感じている。本校でも、1年時には福祉体験や奉仕体験、2年時には職業講話や職業体験、3年時には農業体験や高校との連携等の体験の機会を作ってあげたい。各家庭におかれても子どもたちに様々な体験の機会を是非与えて欲しいと願っている。

お知らせ

☆ 創立30周年行事・式典について

上の宮中学校

創立30周年記念行事・式典について

- 1 本校の開校日 昭和53年4月1日
- 2 創立30周年記念行事・式典 平成20年11月15日(土) 予定
「創立30周年を生徒、保護者、地域とともに祝い、今後の発展を期していきたい」
- 3 現在までの取組
 - ・3月26日(月) 設立準備委員会
実行委員会会長 金井 一正氏 (寺尾第二地区連合町内会長 北寺尾町内会長)
 - ・5月26日(土) 拡大実行委員会
実行委員長 立花 裕治氏 (現PTA会長)
顧問 各自治会会長 いちよう会会長
 - ・委員会組織 記念誌委員会 記念品委員会 記念行事委員会
式典・祝賀委員会 庶務委員会 (統合する委員会もある)
- 4 今後の取組
 - ・第2回 拡大実行委員会を開催
 - ・各委員会に分かれ実行委員が活動を開始

今後、皆様に周年行事関係でご協力をお願いする場面が多くなると思います。何とぞ、よろしくお願い申し上げます。

☆ PSY (パイオニアスクール) 関係について

過日、「地域の人材を活用した学校づくり」をテーマにしたPSYで、ボランティアを募集したところ、30数名の人がエントリーして頂きました。本当に有難うございました。今後の具体的なことは、担当の職員から連絡をいたします。募集の締め切りを過ぎましたがご協力・ご支援を頂ける場合はご連絡ください。

☆ 人権教育講演会のお知らせ

平成19年6月29日(金) 午後1時30分 ~

演題 「屋外生活者の実態調査から見えてくること」

講師 寿支援者交流会事務局長 高沢 幸男氏 他 屋外生活体験者